

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第5回未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」
開 催 日 時	平成25年2月12日（火）午後7時00分～9時10分
開 催 場 所	中部地区会館403会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）石井一弘、石井友里菜、今北洸平、大谷亜由美、加園裕一、向後俊佑、八代理沙 欠席者：原田裕一、田太涼也 事務局：秘書広報課長、秘書広報課主査、秘書広報課主任
報 告 事 項	1 第4回未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の会議録について 2 その他
議 題	議題1 1 情報交換（各班の報告） 2 班研究 その他 1 次回以降の会議の開催日程 2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 1 情報交換（各班の報告） 市内（市民にとって武蔵村山市は魅力があって住みやすい街であることを、さらに知ってもらうための研究）班は、若者に重点を置き、市報などによる講座やイベント等の情報発信のやり方を考えてくことになった。 市外（市外に対して、武蔵村山市の魅力を発信することの研究）班は、アピールしていく方法を4点にしぼり、今後1～2点に絞り込み深めていくことになった。 2 班研究 市内班は、周りの市町村等がどのような若者向けの講座等をおこなっているのかを知識として入れ、改めて出し合ったものを見直して詰めていくこととなった。 市外班は、学園祭などに武蔵村山市の店を出店し、そこで若者向けマップ等で市をさらにアピールするという事となった。 その他 1 次回以降の会議の開催日程 次回3月12日（火）の会議の時に、4月以降の会議日程を決める。 2 その他
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  (発信者) ◎印：リーダー ○印：委員 ●印：事務局	報告事項1 第4回未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の会議録について ●報告事項1ですが、会議録がP1～P4に記載されているので、御覧頂き訂正等ありましたら、後日、連絡いただければと思います。  報告事項2 その他 ●特にございません。  ◎会議録についてですが、会議前にいただくことは可能でしょうか。みなさん、メール等で確認できると思いますので一週間前ぐらいまでにお願います。 ●一般的には、リーダー・サブリーダーに確認してもらうことが多いようです。委員の皆様を確認してもらうとなると事務的に追いつかない恐れがあるためです。一週間前ぐらいまでにリーダー・サブリーダーに、会議録を送らせていただきますので、御確認してください。

### 議題1 1 情報交換（各班の報告）

◎市内班と市外班の前回までの進捗状況等の報告をお願いします。

○市内班としては、市報等は、お年寄りと子育て世代の間の世代がぼっかり空いてしまっているように感じている。10代、20代は興味を持っていない。若者が見るように市報を変えられればと思っています。

◎確かに、今の市報は時間がない限り読まないし、読めないと思う。読めば若者向けの講座等もあるのですが。

○若者が気軽に集まれるような場所を作ればと考えました。若者も夜や休日には、市内にいることも多いと思うので、そこを利用して市をアピールしていく。

また、若者向けの市報を独自に作成したり、若者同士が情報交換（遊び場やいつもいる場所等）していけるようにしていければと考えました。

○確かに、市報は一生懸命読まない。講座なども、高齢者や子供、幼児向けが多い気がする。今、私が就職活動をしているからかも知れないが、就活イベント等の若者向けのものがあるとうれしい。

○市が直接、市民と繋がっているのは、市報やホームページ、ツイッター、フェイスブックがあるが、実際は、市報が一番情報の発信力があると思う。ぜったいに世帯で受け取るものだから。掲示板等では見る人と見ない人がいる。

○市外班としては、アピールしていく方法を次の4点「アンテナショップを作る」、「交通の便を良くする」、「新しい名物の発明・発見」、「ご当地キャラクターの選定」にしぼり、そこから最終的に、1、2点にしたいと考えています。市内案内用のマップ等を若者向けにアレンジしたり、体験学習として、都内の小中学生を稲作体験等に呼んだらどうかなど話していました。

○アンテナショップについても、いきなり都内に出店するのではなく、立川辺りが良いのではないかとの話が出ました。また、東経大学のキャンパスが市内にあるので、学園祭等にアンテナショップを出店させてもらって、少しずつ知ってもらっていく方法があるのかなと考えています。個人的には、大学の生協などに市の物などを置いてもらうのがいいのかなと思います。

○大学の生協に置いてもらうというのは、とてもいい考えだと思います。

○マップを若者向けに変えるというのは、市内班でも話していたが、確かに市報等見ても、若者は意識されていないと思えてしまいます。

◎今後も、同じような考え方ややり方等が出てくると思いますので、このように情報交換を行いたいと思います。

### 議題1 2 班研究

#### 「市内」向けの班

○前回会議で、若い人達が欲しそうな情報等を挙げて行こうということになりましたが、最初にジャンル分けをしなかったことがよくなかったと思っています。「食べる」や「遊ぶ」、「学ぶ」、「暮らす」などに分けて、付箋にどんどん書いていき、まとめていく方法がいいのかなと思います。

○若い人へのPR、情報発信ということですね。

ー付箋への書き出しー

○どのようなジャンル分けが良いのか、悩むところですが、若者向けで考えて、食べること、遊ぶこと、暮らすこと、学ぶことに分けグループかしていきたいと思います。

ー模造紙に意見を言いながら、付箋の貼り出し（グループ分け）ー

◆食べる

- ・遅くまで営業している飲食店
- ・武蔵村山市内のスイーツマップ
- ・小松菜（おからドーナッツ、豆腐）
- ・狭山茶（団子、パン、茶）／お茶入れ講座

◆遊ぶ

- ・サイクリングロード（自転車道）
- ・バイクレースのチームがある
- ・フードグランプリのPR
- ・シダックスやラウンドワンでの街コン
- ・ボルダリング
- ・里山民家
- ・村山でえだら祭り

◆暮らす

- ・終電、終バスの情報
- ・スポーツクラブがある（スポーツのできる場所）
- ・新しい自転車屋の紹介
- ・クリスマスライトアップ
- ・ボランティアの一覧（興味を持ってもらう）
- ・クリーン作戦（街コン）
- ・趣味を自慢する場（文化祭的な）
- ・市総体（もっと気軽に参加）

◆学ぶ

- ・体験型の講座（ネイル・アロマ・うどん等）の土日開催
- ・さくらホールの催事（若い人が好きなもの）
- ・若者のサークル等をまとめたフリーペーパー

○整理しますと、若い人向けに武蔵村山のこのような事を伝えていけば、もっと市を知れて、もっと市に目を向けるのではないかということですね。ここから何をどのようにして伝えるのか。例えば、里山民家であれば、歴史等ではなく、この場所を使ってどのような事をすれば受け入れられやすいとか、関心を引く等を考えて行けたらよいのではと思います。それが決まってくると誰が何をしていくのかなども決まってくると思います。

○街コンを動機づけ・基礎にして、村山独自の例えば、里山民家知ってもらう・デエダラ祭り参加・自転車道を歩きながら等を行えば、市民にしても来てくれる人にしても、一石二鳥だと思う。

○街コンに来る人は、武蔵村山市の人ではないのですか。

○市外の人も参加できるもので良いと思います。制限して行うこともでき

るが、制限すると参加者がほぼ知り合いという状況が起こり得ると思う。

- そうすると、市の人に参加しない（知り合いに会ってしまう）こともあるということですね。
- 確かにそうかもしれませんが、市で行うならば参加してみようという人も多いと思います。
- 単発で行うならば意味がないと思います。継続性のあるものの方がいいと思います。ただ、現実的に考えると、武蔵村山市はイベントが多すぎる気がしているので、市としてお金が掛かるイベントに経費を出してくれるのかは疑問です。
- たとえば、花火大会などの現在あるイベントに、街コンの要素を入れる等、企画ものにするのがいいと思います。そうすれば、わざわざ一から企画しなくても、イベントがあるごとに開催することができる。
- フードグランプリで街コンを行えば、良い市のPRになりそうですね。
- 個人的な考えでは、市の若者に武蔵村山市に目を向けてもらうのが大前提であると思う。そこで、こちらが若者に受け入れやすい情報を出していくというのが基本だと。
- そうすると、若者が集まることのできる場所ということになるのでしょうか。気軽に参加できる場所や教室、講座などですかね。
- 各分野で、人を集めてそこで情報を発信していくことを前提に考え、どのようなことのできるかを考えていきますか。
- 友人や知り合いにどのような講座や教室なら集まりたいか聞いてみたいと思っています。
- 次回会議までに、周りの市町村等がどのような若者向けの講座等をおこなっているのかを知識として入れてきて、改めて、今回私達が出し合ったものを見直して詰めていくということでしょうか。

#### 「市外」向けの班

- 総務省が地域活性化事例集のようなものを毎年発行しているようなので、それを基に独自のものを追加していくだけでも良いのではと思います。調べてきました。成功しているものもあるようです。
- 市独自で、どこまでやれるのかという疑問があると思いますので、良いものは真似てもいいと思います。
- 基本的な質問ですが、どの程度のところまで私達は実現に向けて、詰めていかなければならないのですか。
- 行うものによって変わってくると思います。
- たとえば、こういう場所はいくらで借りられるまで調べるのか、単に案だけで良いのか。
- 進捗状況にもよると思います。できるのであれば、細かなところまで調べて頂きたい。その後は、市の予算の関係が出てきますが、どこまでというのは決めないで進めてください。
- 一つにしぼらなくても良いということですね。最終的に報告書を提出するということが。
- 実現可能かどうかや場所等を考えなければ、アンテナショップも考えられると思います。東京経済大学の学務課と武蔵村山市は仲良くしているという話を聞いたことがあるので、学園祭での出店とか可能であると思う。（東経大）武蔵村山キャンパスに行ったことのない学生も、キャンパスのある村山かと興味を持ってくれると思います。
- 国立音大でもどうでしょうか。ほとんど武蔵村山ですよ。

- 東経大は、国分寺にあるのでそこで武蔵村山を知ってもらうのは、とても良いと思います。
- レンタサイクルは、市ではやってないですね。山が多く自転車で走るには、難しいですかね。個人的には、モノレールが伸びてきた場合は、需要が出てくると思うが。
- 今、有力な候補は、アンテナショップとレンタサイクル、マップですかね。ご当地キャラクターは、今は流行っているけど、中途半端なものを作っても駄目だと思う。武蔵村山市にご当地キャラクターを作る意味のあるご当地感あるものを作るか、見つけないといけない。
- 星がよく見えるそうなので、アウトドアと絡めてそういう施設を作るのは、若者にも魅力があると思います。
- そろそろ何か1つに絞って、話をしていった方がいい。個人的には、大学の生協でアンテナショップを開き、そこに置く若者向けマップを作るとか、学生向けイベントを開催する等がいい。アンテナショップに限らず、大学生向けと考えるのが良いと思う。
- 生協は、どうでしょうか。私は、あまり利用していません。どこかのゼミで知的障害者の施設と共同で作ったクッキー等を生協に置いているようですが、少し高く売れていないようです。
- だが、地元市町村と大学が提携して、大学内に何かを店を出したり、物を置いたりするのは聞いたことがないので良いと思います。始めに、無料で提供するなどすれば、少しは違うかも。武蔵村山市を知ってもらうのが一番なのですから。
- 学園祭では、村山かてうどんが売ることができ、作ることを体験させることもできる。学園祭のような一大イベント時は、その他に野菜や他の特産物も売れると思う。
- そうすると、常時、店を開く（生協の一面等）のではないということですかね。
- 生協等で武蔵村山の店を開くなら、1か月とかの限定の方が若者は興味を持つと思う。学園祭でも、学園祭限定品とか若者は好きかも。
- 大学としても、武蔵村山の市民が学園祭に来てくれればプラスになる部分もあると思う。学園祭パンフレットにも武蔵村山市の企業の宣伝を入れてもらうのもいい。学校側からの、OKはすぐ出ると思う。実行委員会との調整が必要ですが。
- 「知る」ということがテーマであると考えると、学園祭はやっぱいいと思う。市内企業にも協力してもらい、たとえば文明堂であれば、パッケージに「武蔵村山市」を入れてもらえば、武蔵村山市との関係を知らない人にも良いアピールとなる。
- 学園祭での配布用に、マップを作るのはどうか。たとえば、東経大村山キャンパスからのウォーキングマップやおいしいものマップはどうか。
- 若者向けのマップはとても良いが、他で使いづらくなるので東経大発というのはよくないかも。
- 学生だけをターゲットにするのは、少しもったいないでしょうかね。
- 市としてはどうしても、広く浅くすべての世代に情報発信するという事になってしまい、宣伝効果が余り得られない。ターゲットを絞り込み狭く深く宣伝する方法は、それはそれで良いと思います。口コミも大きいと思いますので。
- 学生は、安くできるとか無料であるとかに魅力を感じると思います。あとは、交通の便が悪いので、迎えのバス等必要かも知れません。
- マップを作るとしたら、その場合の「若者」というのは、どういうことになるのか。とにかく見やすさは重要になる。必要最低限のことが載っ

ているマップでいいと思います。今あるマップは、道を含め、自分がいる位置がわかりづらい。

- 普通にこういう観光があるとマップに載っていても、若者はいかない。若者向けには、星が見やすい場所や夜景スポットなどがいいのかなど。
- 大学生の好きそうなものを上げていって、あるものやこれから作れるものをマップに載せては。花火や温泉は、若い人でも宣伝によっては来るかも。ただ、体を動かすなどアクティブなものの方が、若い人は興味を持つかも知れません。
- 若者向けのマップに載せたらよさそうなものを上げていきましょう。

- ・バーベキュー場、花火大会
- ・クリスマスイルミネーション
- ・プリンスの丘公園（デートスポット）
- ・季節ごとに分ける（マップの配置）
- ・かてうどん
- ・寺・神社（縁結び？）
- ・トンネル

○神社に協力してもらい、縁結びスポットを作ることはできないか。喧嘩しても仲直りできる神社や鐘を突くと幸せになれるとかどうでしょう。または、プリンスの丘公園で良い縁が結ばれたという話を口コミで広げていったらどうか。若者はこういう話は大好きなので。

○良くある「恋人の鐘」や「幸せになる南京錠」とかも、もともとは誰かがやって幸せになった等の口コミがほとんどだと思います。

○まとめると、「学園祭などに武蔵村山市の店を出店し、そこで若者向けマップで市をさらにアピールする」ということでいいでしょうか。

#### その他 1 次回以降の会議の開催日程

○次回以降の会議日程ですが、当初の予定では4月は、抜いて5月から来年度の会議を開始していくことになっております。次回3月の会議の時に、4月以降の会議日程を決めようと思います。今までは、毎月第二火曜日19時から行っていましたが、御都合の悪い方はいませんか。

#### その他 2 その他

●特にありませんが、4月も続けて会議を行ったほうがやりやすいのかなと思っています。

◎特に、1か月空ける必要もないということですね。

●皆さん、それぞれ4月から環境等が変わって、お忙しいと思ったので1か月空けただけなので、続けて会議を行っても問題はありません。

◎当初の予定より、会議の回数が増えた場合は何か問題がありますか。

●予算の都合上、謝礼が払えないという問題があります。

●ただ、最終的に報告書の作成まで進めていかなければならないので、次回の会議ぐらいまでは、今のように意見を出し合う形で問題ありませんが、それ以降は、内容を詰めていかないと終わらないと思います。班ごとにでもかまわないので、各会議でどこまでは終わらせるという予定を決めていかなければいけないと思います。

ー質疑・意見等なしー

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ( )	傍聴者： 0 人
-----------------	---	----------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示	
	<input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： )	
	<input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： )	

庶務担当課	企画財務部 秘書広報課 (内線： 314 )
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)